



**滋賀県内議会トップ10公開 1位は大津市議会  
長浜市議会、滋賀県議会が続く 彦根市議会は躍進**  
「議会改革度調査2017」ランキング 早大マニフェスト研調べ

地方から政治を変える取り組みを行う早稲田大学マニフェスト研究所は6月14日、2017年度「議会改革度調査」の滋賀県内ランキング上位を公開しました。

地方自治の政策コンテスト「マニフェスト大賞」を複数回受賞している大津市が1位で全国総合2位になりました。彦根市は大きく順位を上げ4位に入りました。

▽詳細は以下のURLからご覧ください

<http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku>



▼滋賀県内の議会ランキングTOP10

※総合順位の300位以下、前年未回答は「-」と表記。 ※滋賀県内は17議会が回答（回答率85%）

順位	議会名	総合順位	前年比
1	大津市議会	2	±0
2	長浜市議会	22	±0
3	滋賀県議会	67	+9
4	彦根市議会	68	+121
5	草津市議会	109	-46
6	米原市議会	200	+89
7	近江八幡市議会	-	-
8	栗東市議会	-	-
9	湖南市議会	-	-
10	東近江市議会	-	-

■TOP3議会、注目議会の特徴

- ・ 1位【大津市議会】外部知見導入による政策立案機能の強化と、実行計画『ミッションロードマップ』を推進。広域行政課題に関する隣接型水平連携による他議会との広域連携の取り組みも実施。
- ・ 2位【長浜市議会】議会基本条例を4年に1度検証し結果をネット公開している。議員間の自由討議は、議案採決の前に議論の場を設け、委員間で十分な議論がされるよう工夫して行っている。
- ・ 3位【滋賀県議会】議会基本条例の検証を実施している。委員会で県民参画委員会を開催しているほか、年度末には委員間討議で年間の議論の論点整理を行いホームページで公表している。
- ・ 4位【彦根市議会】全議員が参画する広聴委員会、広報委員会、議場開放促進委員会の3委員会を設置。滋賀大学経済学部と連携協定を締結し、大学生との意見交換結果を議会だよりの紙面に反映。

▼議会改革度調査2017について

【調査概要】 2018年2月下旬にメールや郵送で調査依頼を全地方議会に送付し1,318議会が回答。

(回答率74%)。2010年度から今回で8回目の調査となる。

≫詳細：<http://www.maniken.jp/gikai/2017gaiyo.pdf>

◇ 今後、「議会改革度調査2017」の新たな情報は早大マニ研HPで公開します。

<お問合せ先> 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局：担当 永尾、青木

TEL：03-6214-1315 E-MAIL：mani@maniken.jp HP：<http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku>